

福島第一原子力発電所現地確認報告書

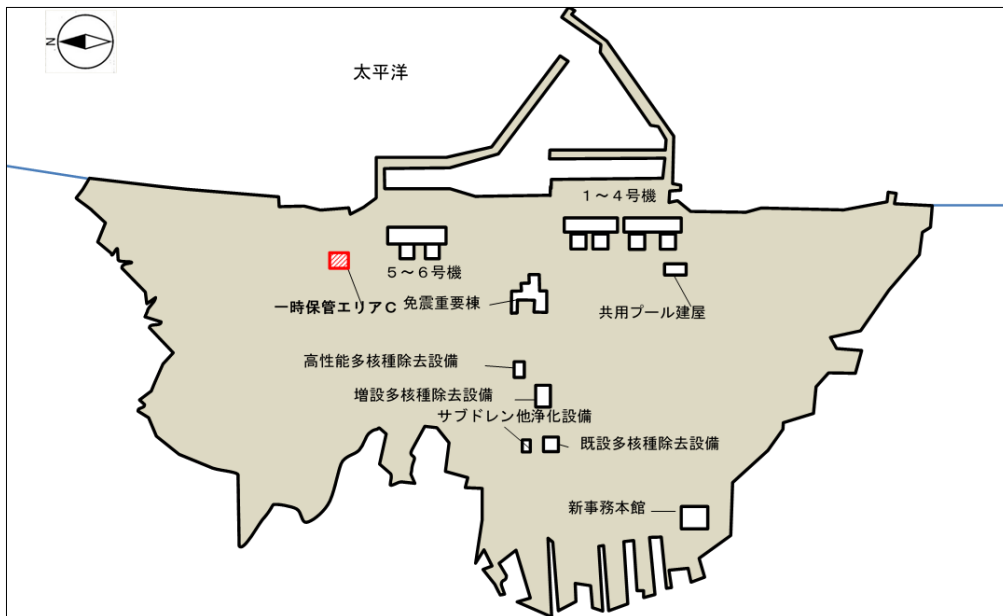
- 1 確認日
令和3年8月19日（木）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアC
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアCにおけるノッチタンクの保管状況

4 確認結果の概要

本年7月に瓦礫類一時保管エリア（以下、「一時保管エリア」という。）P2に保管されている汚染土壌入りのノッチタンクから放射性物質を含む水が降雨により溢水し、付近の排水枡の全ベータ値を一時的に上昇させる事象が発生した。今回、一時保管エリアCに保管されているノッチタンクの状況を確認した。（図1）

なお、一時保管エリアCは表面線量率が毎時0.1ミリシーベルト以下の瓦礫類を屋外で集積保管等しているエリアである。（写真1）。

- ・エリアの入口付近には、再生砕石のストックヤードが設けられており、ノッチタンクはその周辺2箇所を確認された。
- ・ノッチタンクは内部に砕石が詰められ、ストックヤード等の仕切り及び擁壁として活用されていた。（写真2）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
瓦礫類の保管状況
(瓦礫類を集積し、シート養生して保管)



(写真2-1)
ストックヤードの状況
(エリア入口から撮影)



(写真2-2)
ノッチタンクの活用状況①
(ストックヤードと集積保管場所の仕切りに活用)



(写真2-3)
ノッチタンクの活用状況②
(ストックヤード等の擁壁に活用)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。